

自動車リサイクル

THチーム全部再資源化事業所2015年度表彰結果

【2015年度 THチーム全部再資源化事業所 表彰結果】

【順位賞一覧】

Table with 2 columns: 全部再資源化事業所 (Company Name) and 都道府県名 (Prefecture Name). Lists 20 companies across various prefectures.

※ 順位賞については3種類の区分で都道府県別に記載

【優秀賞一覧】

Table with 2 columns: 全部再資源化事業所 (Company Name) and 都道府県名 (Prefecture Name). Lists 20 companies across various prefectures.

(*1) THチームとは... (*2) コンソーシアムとは... 解説業者・プレス業者・製鋼メーカーと必要に応じてそれらを取り纏める商社等が加わり全部再資源化の業務を実施するユニット。

2015年度 表彰盾



全部再資源化とは、解体業者(全部再資源化事業者)において精緻な解体を行い、ワイヤーハネスやモーター類などの銅含有部品を除去し、プレス業者(破碎前処理業者)で自動車プレスにすることにより、プレスを

全部再資源化台数、5年ぶり11万台水準 2012年度に増加に

豊通リサイクル(本社)名古屋市中村区、小松原充社長(※1)のほど、自動車リサイクル法第31条に基づきTHチーム(※1)が委託する、全部再資源化事業所の2015年度再資源化実績に対する表彰結果を取りまとめ、公表した。制度の概要、順位賞および優秀賞の事業所は左表の通りとなっている。

転じた全部再資源化の台数は、引き続き右肩上がりのトレンドを維持。2015年度は対前年度比9209台増の11万1598台と、2010年度以来5年ぶりに11万台を超えた。全部利用比率は同0.9ポイント上昇の7.2%だった。豊通リサイクルによると、「使用済自動車台数が減少する中、全部再資源化によるコスト面のメリットも増加につながった」という。

再資源化実績を残した事業所に対し感謝の気持ちを表すとともに今後の取組拡大を期待し、2007年度からこの表彰を行っている。

<表彰制度概要>

- ①表彰単位: コンソーシアム(*2)として登録しているプレス業者の事業所単位
②表彰期間: 2015年4月~2016年3月までの実績台数
③表彰内容: (1)順位賞/実績台数上位30事業所 (10位以内、20位以内、30位以内の3種類) (2)優秀賞/THチームの定める基準値を超えた事業所 (水準: 安定的な出荷がある事業所 120台/年以上)
④前提条件: (1)チームの定期監査に合格していること (出荷停止の措置がないこと) (2)製鋼メーカー(全部利用者)から自動車プレスに対する品質クレーム(受入拒否)がないこと (3)自動車リサイクル法・関連法令を遵守していること

自動車リサイクル

ART全部再資源化事業所2015年度表彰結果

2015年度 表彰事業所(五十音順)

TOP5賞

Table listing top 5 award recipients: 飛田テック株式会社, 飛田テック株式会社, 株式会社 末広商店, 日本オートリサイクル株式会社, 株式会社 吉川金属商事.

TOP10賞

Table listing top 10 award recipients: 東日本資源リサイクル株式会社, 有限会社 宇野自工, 西日本オートリサイクル株式会社, 有限会社 原木自動車, 株式会社 啓愛社.

TOP20賞

Table listing top 20 award recipients: 株式会社 啓愛社, 朝日金属株式会社, 株式会社 吉川金属商事, 株式会社 啓愛社, 株式会社 久保田オートパーツ.

Table listing recipients under '解体事業所' category: 有限会社 尼岡産業, 有限会社 太陽興業, 株式会社 屈野メタル, etc.

Table listing recipients under '解体事業所' category: 熊本新明産業株式会社, 岡谷エコ・アソート株式会社, 有限会社 会田車輛, etc.

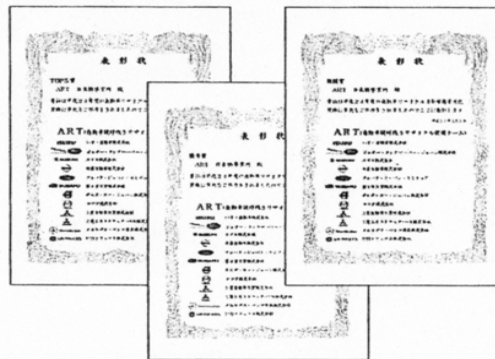
優秀賞 (目標達成率100%以上)

Table listing award recipients: 株式会社 マックスカーパーツ, 株式会社 マーク・コーポレーション, 株式会社 清水, etc.

敢闘賞 (目標達成率100%未満、基準台数以上)

Table listing award recipients: 株式会社 アールエコ, 株式会社 オートセンターモリ, 株式会社 エビス, etc.

表彰状見本



<ARTとは>

いすゞ自動車、自動車リサイクル促進センター、ジャガー・ランドローバー、ジャパン、スズキ、日産自動車、フォードジャパン、富士重工業、ボルボ・カー・ジャパン、マツダ、三菱自動車工業、三菱ふそうトラック・バス、メルセデス・ベンツ日本、UDトラックスの13社による、自動車破砕残さリサイクル促進チーム「ART (Automobile shredder residue Recycling promotion Team、呼称：エイ・アール・ティー)」。

<表彰制度概要>

- 表彰対象 コンソシアムを構成している破砕事業所及び解体事業所
○実績集計期間 前年度の1年間(3月~4月)
○表彰要件及び表彰内容 (1) ARTのコンプライアンスを満たしていること. (2) 下記のいずれかを満たしていること.

10年連続特別表彰(12事業所)

Table listing 10-year consecutive special award recipients: 飛田テック株式会社, 飛田テック株式会社, 株式会社 末広商店, 日本オートリサイクル株式会社, etc.

自動車メーカー13社で構成する自動車破砕残さリサイクル促進チーム「ART (Automobile shredder residue Recycling promotion Team)」は、全部再資源化業務に尽力している事業所への感謝を表すため表彰制度を設けている。このほど2015年度の表彰事業所を決定し、これを公表した。

